



石破幹事長に松沢くにお前県会議員と報告

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（越谷市・草加市）】

緊急時こそ試される政治力

～竜巻被害に関するご報告～

※きかわだひとしを応援する会 入会のご案内など

きかわだステーション



第 24 号

きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑
衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

緊急時にこそ試される政治力～竜巻被害に関するご報告～

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。

9月2日、越谷市内において、竜巻被害が発生しました。それまで、竜巻は、建物などが無く、開けた土地で発生するものと考えられていました。しかし、今回は、越谷市という首都圏の住宅街で発生し、たくさんの建物が被災し、負傷者も多数発生しました。

先ずもって、被害に遭われた皆様に、心より、お見舞い申し上げます。

この日、私は、永田町にあります国会事務所で仕事をしておりました。NHKのニュース速報で、越谷市内で大きな竜巻が発生したことを知り、ヘリコプターの中継映像を見て、一目散に、越谷市に戻りました。

竜巻による被害は大変特徴的で、地震や台風とは異なり、「面」ではなく「線」上に、被害が発生していました。隣の家はほとんど無傷なのに、何メートルか先の家では、屋根や壁が吹き飛ばされ、ほぼ全壊というものもありました。学校のガラスは全て吹き飛ばされ、ケガをした生徒もいました。

幸いにも、今回の竜巻で亡くなられた方はいませんでした。これはまさに奇跡です。

現場を回って話を聞いた中には、あと数秒、数センチ違っていたら、家毎吹き飛ばされて、亡くなっていたかもしれないという方が、何人もいらっしゃいました。命に別状がなく、とにかく本当に幸運だったと思います。

【災害時の国会議員の役割：個人として組織人として】

今回、衆議院議員として竜巻被害の対応をする中で、強く感じたことがあります。災害時の国会議員の役割です。



グラウンドのネットの支柱がなぎ倒された現場。竜巻の威力がまざまざと伝わってきます



翌朝、松沢くにお埼玉県議会議員（当時）と金井直樹越谷市議会議長と被害状況を高市政調会長等党本部役員に報告しました

緊急時にこそ試される政治力～竜巻被害に関するご報告～

政治家個人として、誰の制約も受けずに、現場にいち早く入り、被災地の現状を政府に伝えることができます。私も、発生直後に現場に入り、被災状況を自身で把握し、災害対策本部が設置された越谷市役所と意見交換させていただきました。

翌朝には、越谷市選出の松沢くにお埼玉県議会議員（当時）と金井直樹越谷市議会議長と共に、自民党本部の役員会で、現場の情報を誰よりも早く伝え、国に対し、早急に支援策の検討をするよう促すことができました。

一方、自民党に所属する組織人として、石破茂幹事長や高市早苗政調会長への報告を通じて、政府与党として、被災翌日に、関係省庁の担当者を全て集め、総合的な支援策を検討するための会議を開催することができました。その結果、災害救助法並びに被災者生活再建支援法の早期適用を実現することができました。

災害時のような緊急事態下で、役所はなかなかスピーディーな動きを取ることができません。現場は混乱し、その対応だけで精一杯です。大きな組織になればなる程、決裁等の手続きが複雑で、動きたくても動けない状況が多々発生します。そのような役所の弱点を、被災自治体と連携しカバーする役割が、災害時の国会議員の役割の一つであると、改めて確信しました。

【災害時の国会議員の役割：法律が想定しない事態への対応】

冒頭でも述べましたとおり、今回の竜巻被害は、前例のないものでした。よって、法律が想定していない被害が多くみられました。国の役所は、前例がないことに対応するのがとても苦手です。新たな前例をつくることで、今後どのような影響が出るのかをととても気にします。その結果、検討に時間を要し、様々な決断が遅れてしまいがちです。そんなとき、必要とされるのが、政治の力であり、国会議員が取り組むべき役割の一つであると思います。

特に、災害時のような緊急事態時には、1日も早い被災者救済、生活再建が求められます。そこには、多くの政治決断が必要です。私も、様々な会議等の中で、法律に書かれていないからできないのではなく、常に被災者の立場を最優先に考え、積極的に支援策等に取り組むよう、関係省庁に強く求めてきました。

災害時等の緊急事態時にこそ、政治の力が最も発揮され、その実力が試されます。今回は、たまたま奇跡的に死者がいないことに救われましたが、政治はこのことに甘んじてはなりません。今回の経験をしっかり生かし、まずは、災害を起こさない、もし起きたときは、最小限の被害に留め、一日も早い復旧、復興に取り組むことのできる体制を構築しなければなりません。まさに、政権与党、責任政党として、自民党に求められている役割です。

今回の竜巻被害を受け、政府は、竜巻に関するプロジェクトチームを設置しました。もはや都市部での竜巻発生は偶然ではなく、必然であると判断したからです。予報の高度化、自治体から住民への予報伝達の方法、避難方法、竜巻被害に対応した法体制の確立等が検討されています。今回の被災地・越谷市選出の国会議員として、現場の声を、新たな法律や支援体制にしっかり届け、安心・安全な地域づくりを積極的に進めて参ります。

平成 25 年 10 月 吉日 自由民主党衆議院議員

黄川田仁志

～一緒に日本の政治を考え、行動してみませんか？～

きかわだひとし後援会 入会のご案内

きかわだひとしの政治理念及び活動に共感し、応援していただける方を募集しております。越谷市または草加市にお住まいの方なら、どなたでもご入会いただけます。**入会金・年会費は不要**です。会員の皆様には、活動報告等をお届けします。入会を希望される方は、恐れ入りますが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



一緒に「自立」と「誇り」ある日本を創ろう！ **きかわだひとし後援会**

〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷 2-8-31 Tel 048-962-8005 Fax 048-962-7999

Mail : info@kikawadahitoshi.jp HP : <http://www.kikawadahitoshi.jp>

Blog : <http://ameblo.jp/kikawadahitoshi/> (Ameba 政治家ブログ)

ボランティア大歓迎

きかわだひとしの活動をお手伝いいただける方を募集！

カンパ募集しております！

サラリーマン出身のきかわだひとしの政治活動拡大にご協力を！

きかわだひとしとは？…自民党衆議院議員。東京理科大卒、米州大学大学院修了。松下政経塾出身。元環境コンサルタント。昭和45年生まれ。趣味は剣道、空手、野球、落語。現在、外務、法務、震災復興特別各委員会所属。自民党青年局長。